【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成21年7月9日(2009.7.9)

【公開番号】特開2007-296154(P2007-296154A)
【公開日】平成19年11月15日(2007.11.15)
【年通号数】公開・登録公報2007-044
【出願番号】特願2006-127141(P2006-127141)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３１５Ａ
Ａ６３Ｆ　7/02　３１７

【手続補正書】
【提出日】平成21年4月28日(2009.4.28)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
特別入賞口が設けられる第１の遊技領域とその他の第２の遊技領域とに区画形成されてなる遊技領域のうちの前記第１の遊技領域には、前記第２の遊技領域から当該第１の遊技領域内に進入した遊技球が前記特別入賞口へ向かうときの経路となる複数の通路、及び前記複数の通路からそれぞれ遊技球の供給を受ける特別駆動役物が形成されてなり、前記複数の通路から供給される遊技球が前記特別駆動役物を介して前記特別入賞口に受け入れられるとき、遊技者にとって有利な特別遊技を行う遊技機であって、
前記第１の遊技領域内に進入した２つの遊技球が前記複数の通路のうちの異なる通路中を同時に進むとき、それら遊技球が前記特別駆動役物に順次に供給されるように前記同時に進む遊技球の少なくとも１つに作用する順序付け手段と、
前記順序付け手段によって前記特別駆動役物に遊技球が順次に供給されるときの前記特別駆動役物の駆動にかかる制御態様を該当する遊技球の供給元である通路の別に異ならしめる役物駆動手段と、を備え、
前記役物駆動手段による前記特別駆動役物の駆動にかかる制御態様をもって前記同時に進む遊技球の前記特別入賞口への入賞確率を各々該当する遊技球の供給元である通路の別に異ならしめるようにした
ことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
前記順序付け手段は、前記複数の通路のうちの異なる通路中を同時に進む遊技球を予め定められた供給順序に従って前記特別駆動役物に順次に供給するものであり、前記役物駆動手段は、前記特別駆動役物の駆動にかかる制御態様として異なる複数の制御態様が規定された役物制御プログラムを備え、これら役物制御プログラムを予め定められた実行順序に従って順次に実行するものである
請求項１に記載の遊技機。
【請求項３】
前記役物駆動手段は、前記特別駆動役物の駆動にかかる制御態様として異なる複数の制御態様が規定された役物制御プログラムと、前記特別駆動役物の駆動制御を行うにあたり、前記特別駆動役物に供給される遊技球が前記複数の通路のいずれを通ったものであるか

を判断する判断手段とを備え、該判断手段による判断の結果に応じて前記役物制御プログラムを選択的に実行するものである
請求項１に記載の遊技機。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】００１１
【補正方法】変更
【補正の内容】
【００１１】
こうした目的を達成するため、請求項１に記載の発明では、遊技領域を特別入賞口が設けられる第１の遊技領域とその他の第２の遊技領域とに区画形成する役物と、前記第２の遊技領域に打ち込まれた遊技球の前記第１の遊技領域内への進入の確率が高くなるように動作可能な可動片と、前記第２の遊技領域に設けられる始動口に遊技球が受け入れられることに基づいて所定の表示部に表示される特別図柄についての変動表示制御を行うとともに、該変動表示制御に際しては、当該変動表示制御を一旦保留の状態とする変動表示制御手段と、前記保留の状態が解除されることによって行われる前記変動表示制御の結果が前記可動片の動作契機となる小当たりの当選を示すものであるとき、当該変動表示制御に要する変動時間の経過をもって前記可動片の駆動制御を行う駆動制御手段とを備え、前記第２の遊技領域に打ち込まれた遊技球が前記駆動制御手段による前記可動片の駆動制御を通じて前記第１の遊技領域内に進入し、該進入した遊技球が前記特別入賞口に受け入れられるとき、遊技者にとって有利な特別遊技を行う遊技機にあって、前記駆動制御手段を、前記可動片の駆動制御を行うにあたり、当該駆動制御が行われるタイミングを報知するものとした上で、前記保留の状態にある変動表示制御の数である保留数がその最小保留数であるときに前記保留の状態が解除されることによって行われる変動表示制御に要する変動時間をＡ、前記保留数がその最小保留数を除くいくつかの保留数であるときに前記保留の状態が解除されることによって行われる変動表示制御に要する変動時間をＢとするとき、それら変動時間を、「Ａ＜Ｂ」なる関係に設定することを要旨とする。
また、請求項２に記載の発明では、請求項１に記載の遊技機において、前記順序付け手段は、前記複数の通路のうちの異なる通路中を同時に進む遊技球を予め定められた供給順序に従って前記特別駆動役物に順次に供給するものであり、前記役物駆動手段は、前記特別駆動役物の駆動にかかる制御態様として異なる複数の制御態様が規定された役物制御プログラムを備え、これら役物制御プログラムを予め定められた実行順序に従って順次に実行するものであることを要旨とする。
また、請求項３に記載の発明では、請求項１に記載の遊技機において、前記役物駆動手段は、前記特別駆動役物の駆動にかかる制御態様として異なる複数の制御態様が規定された役物制御プログラムと、前記特別駆動役物の駆動制御を行うにあたり、前記特別駆動役物に供給される遊技球が前記複数の通路のいずれを通ったものであるかを判断する判断手段とを備え、該判断手段による判断の結果に応じて前記役物制御プログラムを選択的に実行するものであることを要旨とする。
なお、上記特別遊技とは、いわゆる大当たり遊技のことであり、より具体的には当該特別遊技が行われない状態にあるときよりも遊技者が多くの賞球を獲得可能な遊技のことをいう。この特別遊技は通常、上記開閉部材が一定パターンで開閉される遊技をラウンド遊技とするとき、このラウンド遊技が例えば「１」～「１６」などの任意の回数だけ繰り返し実行されることによって行われる。